

第94回メーデー宣言

本日、私たちは「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義の日本をめざそう！」のスローガンを掲げ、働く者の権利を守り、労働環境の改善、市民生活の向上、安心して暮らせる街づくりのため、同じ地域で働く仲間の団結・連帯を強め、要求実現をめざして、ここに集いました。

様々な要因で物価が高騰している中、労働者の実質賃金は低迷を続けており、年金も毎年引き下げられています。一方で、人口減少と高齢化が進むなかで税金や社会保険料の負担は増大し、さらに、賃金の男女格差や地域格差、教育不平等が顕在化し、社会的格差と貧困が広がっています。また、多くの非正規労働者が不安定な雇用環境におかれ、コロナ禍で多くの人が職を失い、女性への性暴力、DVが増えるなどジェンダー問題も明らかになりました。日本のジェンダー指数は146ヶ国中116位と先進国で最下位であり、あらゆる分野において男女が共に家庭と仕事を両立ができるポストコロナ社会が望まれます。私たちは人間らしく働き、豊かなくらしを実現するために、すべての労働者の大幅賃上げと労働条件の改善、雇用の安定、ジェンダー平等を求めます。

新型コロナウイルス感染症の蔓延時には、医療機関や介護・保育施設の人手不足が明らかとなり、スタッフの心身の疲労度は限界に達しました。市民の命とくらしを守る仕事に見合った処遇改善と体制強化を強く求めます。

東日本大震災・原発事故から12年が経過しましたが、いまだ故郷へ帰れず困難な生活を余儀なくされている被災者が3万人以上もいる中、復興予算が削られ、被災者補償や家賃支援がなくなるなど、国の姿勢が問われています。福島第一原発の廃炉に向けた作業では、処理水の海洋放出による風評被害、燃料デブリの取り出しなど課題は山積しています。東日本大震災からの復興と原発に依存しない持続可能なエネルギーや社会の実現をめざし、特に著しく老朽化し危険な東海第二原発の再稼働に反対します。

近年、頻発し大規模化している自然災害やコロナ禍のような従来の想定を超える事象に対して適切・迅速に対応するためには、科学的な知見が必要です。また、これらを未然に予見し防御するための創造的研究が不可欠です。つくば市には、このような科学的知見をうみだす研究機関が多数存在しています。科学的知見をたゆまず蓄積し、安心安全なよりよい社会を築くために、基礎的研究費の拡充を求めます。

ロシアによるウクライナ侵略は国連憲章、国際法に違反しており絶対に許せません。ロシア軍の即時撤退を求めます。ロシアによる核兵器使用の危機に直面している今こそ、唯一の戦争被爆国として国際社会のなかで核兵器廃絶への取り組みを主導するよう政府に求めます。私たち国民、労働者は、第二次世界大戦という大きな犠牲を払って獲得した日本国憲法と民主主義を守り、国民の自由と命と暮らしが守られる社会、核兵器のない平和な世界の実現をめざします。

私たち働くものの団結で、希望のもてる社会を次世代につなぐことを、ここに宣言します。

2023年4月29日
第94回つくば中央メーデー